



42 期 2026-2027 年度 浜名湖ロータリークラブ週報

例会場：浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県浜松市浜名区三ヶ日町下尾奈 200 TEL・FAX 053-524-1177
E-mail hamanako@hamanako-rc.com HP <http://hamanako-rc.com>
例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
会長：中尾 有希子 幹事：伊藤 成弘 公共イメージ委員会委員長：中 神 年 成

第 1853 回例会 2026 年 9 月 29 日(火) 雨 VOL.42 週報 No.10

点鐘：中尾 有希子 会長 SAA：小山 剛 ソング♪それでこそロータリー

本日のプログラム： 青少年奉仕委員会担当プログラム

四つのテスト唱和： 後藤 成生

本日のゲスト： 浜松こども基金 代表 山田 大記 様
副代表 横山 里菜子 様

会員数 40 名 / 免除会員数 2 名 / 計算総数 38 名 / 本日の出席数 30 名 / 暫定出席率 78.95%

会長挨拶 * 中尾 有希子



皆様、こんにちは。
皆様に悲しいご報告
が一つあります。浜名
湖ロータリークラブ
で一緒に活動してき
ました、原三留様がお
亡くなりになりました。長年の活動に感謝すると共
に、ご冥福をお祈りいたします。

さて、突然ですが、皆様は最近、スズメを見かけ
ましたでしょうか？子供のころを思い出してみて
ください。道ばたの木からひょっこり出てきたり、
庭で地面をついばんでいたり、電線の上にずらりと
列を作っていたり……。かつてはごく当たり前、
私たちのすぐそばにいた存在でした。

しかし、「そういえば最近、あまり見ていないかも
しれない」「なんだか前より減った気がする」——そ
う感じたことはありませんか？

実に、ある調査によると、この 26 年間でスズメ
の数は約半分にまで減っているそうです。スズメが
減っている大きな要因の一つと言われているのが、
私たち人間の「住まい」の変化です。近年の住宅は
高気密・高断熱化が進み、窓はぴたりと閉まり、壁
や屋根のすき間はきれいに埋められるようになり

ました。光熱費が下がり、年中快適で、人間にとっ
ては素晴らしい進化です。

しかしその反面、瓦のすき間など、これまでスズ
メが巣を作っていた「小さなすき間」は失われてし
まりました。私たちにとっての「暮らしやすい家」
が、スズメたちにとっては「暮らしにくい場所」に
なってしまったのです。効率や快適さ、自分たちの
都合ばかりを追求すると、社会のどこかで「居場所」
を失ってしまう存在が出てくる——。これは、単な
る鳥の話だけではないように思えます。現代社会に
おいても、家族の形や働き方が変化する中で、子ど
もたちが放課後にふらっと立ち寄れるような「地域
のすき間 (居場所)」が少なくなっているのではない
でしょうか。

そんな中で、素晴らしい「居場所づくり」を実践
されているのが、本日お越しの山田大記様です。山
田様は、こども食堂などの活動を通じて、子どもた
ちが安心して過ごせる居場所や、美味しいご飯をみ
んなで囲める温かい空間を作り続けていらっしや
います。過度に効率化された現代社会の中で、山田
様の活動はまさに、社会の中に「あたたかな、心の
すき間 (居場所)」を取り戻す活動に他なりません。
子どもたちが「自分はここにいていいんだ」と思え
る場所があること。それは、かつてスズメが人間の
家のすき間に守られて生きていたように、地域社会



浜名湖ロータリークラブ 42 期会長テーマ 「親睦の和、笑顔の和 ～居心地の良いクラブを共に～」

全体で子どもたちを見守り、育んでいく豊かな循環そのものです。

これこそが、私たちロータリアンが大切にしている「ロータリーの精神」と深く重なります。私たちのモットーである「超我の奉仕」とは、自分自身の利便性や利益だけを追求するのではなく、一歩立ち止まって、自分以外の存在——地域の子どもたち、環境、そして他者に思いを寄せる心のあり方です。そして「四つのテスト」にある「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」という問いかけ。その「みんな」には、いまを生きる子どもたちや、次の世代の未来がしっかりと含まれています。

物理的な建物にすき間がなくなった時代だからこそ、私たちは「心」や「地域」の中に、ほんの少しだけ他者を想う“すき間”を作り、山田様のような素晴らしい活動を支え、共に育んでいく必要があります。不都合なものを排除するのではなく、共生のためのゆとりを持つこと。自分たちの快適さの陰で、誰かの居場所が失われていないかに目を向け、手を差し伸べること。それこそが、私たちが目指す奉仕の心であり、持続可能な地域社会をつくる第一歩だと感じております。

今日、帰り道でふと足を止め、小さなスズメや地域の子どもたちの笑顔に思いを馳せてみる。そんな「他者を想う小さなすき間」を心に持つことから、豊かな街づくりを始めてみませんか？

本日もよろしくお願いいたします。

9 月のお祝い おめでとうございます。

会員誕生日祝： 柴田 浩

9 月 24 日



表 彰

第 1 回米山功労者（累計 10 万円） 感謝状 贈呈
内山 悦二 小島 明良 近藤 茂

佐原 功一郎	柴田 浩	白井 繁充
神藤 雅章	菅沼 秀介	菅沼 仁司
長坂 和代	中村 一壽	中村 哲也
森 俊幸	渡邊 正敏	



幹事報告 ＊ 伊藤成弘



＊配布物：

- ・ 1851 回・1852 回週報
- ・ ロータリーの友 9 月号
- ・ 本日の卓話資料

＊回覧物：

- ・ ハイライトよねやま Vol.318
- ・ 国際ロータリー第 2620 地区 2025-26 年度報告書

委員会報告

公共イメージ委員会 委員 菅沼 仁司

- ・ ロータリーの友 9 月号の紹介

<横組み>

P2 RI 会長メッセージ

2030 年の創立 125 周年までにロータリアン 125 万人の目標も、数字でなく人を大切にする焦点を当てたもの。

P4 財団管理委員長メッセージ

「ポリオの根絶を歴史に刻もう」記事にお目通しくださいますようお願いします。

P14 友地区代表委員から一言！

地区ガバナーから任命されました地区代表委員 34 名からの一言、友の魅力を少しでもお伝えしたい広報活動の内容です。

P22 モンテベルデ会長の最終例会

東京クロスシティ RC の会長をしたイタリア人、ダニエル・モンテベルデさんが年度の最終例会でのスピーチの内容が載っています。記事の中で、リーダーとは人の意見を聞く耳を持ち、忍耐強く何より調和を大切にすること。自分のビジョンに人を引き上げるだけではなく、

まず自分が一歩下がり後ろから人を支えること。
今一度確認したいと思います。メンバーが最高の
力を発揮できる環境をつくることこそが役割。友
情に支えられて楽しく奉仕に参加できる場を作
ることです。

<縦組み>

P2 JR 九州のまちづくり

2026 年 2 月 28 日第 2700 地区第 1 グループ IM
特別講演の内容。JR 九州の合言葉は、住んで良
し、訪れて良し、働いて良し、人が集まる全てが
まちづくりとの思いで行ってきた取り組みにつ
いて。民営化に反対のご苦労がある中で、75 年に
新幹線が博多まで開業しました。87 年に民営化し
てからは企業努力で大きく成長したお話です。

スマイル 報 告

中尾有希子 雨の中、本日も例会にご出席いただき
ありがとうございます。卓話でお越しく
ださいました山田様、お話し楽しみにして
おりました。よろしくお願いいたします。

伊藤成弘 本日の講師は、山田大記様です。どんな
お話を伺えるのか楽しみにしております。

柴田 浩 72 才になります。健康第一。もう少し、
がんばります。

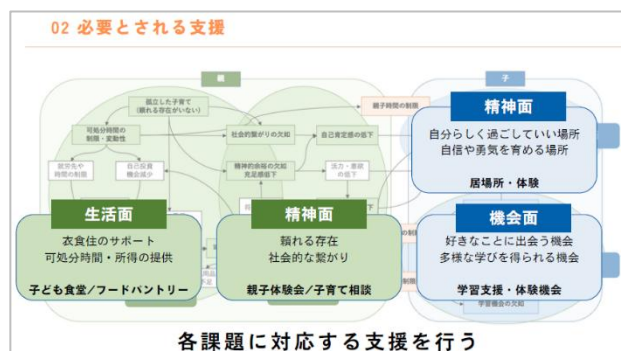
菅沼仁司 健康に感謝しています。

佐原功一郎 山田様、ようこそ。本日の卓話よろし
くお願いいたします。

石原 淳 山田様、横山様、本日の卓話よろしくお
願いいたします。

本日のプログラム 【 青少年奉仕委員会担当プログラム 】

卓話講師：浜松こども基金 代表 山田 大記 様
演題「支え合いで守る子どもたちの未来」



04 浜松こども基金の役割



05 コンセプト図(AFTER)



例会時に集めた募金をお渡しいたしました。

プログラム案内

10月13日(火) 祝日週休会

10月20日(火) 社会奉仕担当プログラム

卓話講師：山本 和弘 会員

10月25日(日) 地区大会

8:30 受付 9:30~14:30

会場：静岡県武道館（藤枝）

11月3日(火) 法定休日（文化の日）休会